

2026年9月7日付けアップデートの注意点

【本丸EXv3】 をアップデートする前に必ずご一読ください。

1. 複合単価の計算方式変更に伴う改修についての注意点
2. 建設業法改定に伴う法定福利費機能の改修についての注意点

1. 複合単価の計算方式変更に伴う改修についての注意点

複合単価の計算方法の改定のため、「初期設定」画面内に「諸経費割合(労)」と「諸経費割合(労以外)」設定欄を設置しました。

初期設定でパターン登録をいただいているお客様は、各パターンの変更作業をお願いします。

【アップデート前】

見積入力初期設定

基本設定 その他設定 ユーザ設定

パターン名称: 20250408_

備考:

分類:

区分	労務名称	労務原価	労務売価
001	電 工	15,000	30,000
002	弱電工	15,000	23,000
003	機械工	15,000	23,000
004	ダクト工	15,000	23,000
005	配管工	15,000	23,000
006	特殊作業員	15,000	23,000
007	土 工	15,000	23,000

労務追加

労務削除

コード	中分類	名称	基準単価	原価率	見積率	定価	原価率	見積率	原価率	見積率	歩掛調整率	材料費	その他
	基本		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
590	ケーブル表示札類		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
	電気(B材)												
101	電線管・付属品類		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
103	液付硬質ポリエチレン管類		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
104	角型TACレックス		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
106	トラフ・ヒューム管類		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
108	ボックス類		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
110	フルボックス既製品類		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
116	ケーブルラック支持材		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
122	2種金属線び支持材		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
124	1種金属線び類		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
127	ダクト支持材		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
136	樹脂ダクト類<MKダクト>		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
137	モール類		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		
156	ラティックダクト		120	150	60	80	110	120	100	30	12.0		

【アップデート後】 ※画面イメージに設定されている率は、あくまでもサンプルです。

見積入力初期設定

基本設定 その他設定 ユーザ設定

パターン名称: A/パターン

備考:

分類:

区分	労務名称	労務原価	労務売価
001	電 工	24,000	30,000
002	弱電工	24,000	30,000
003	機械工	24,000	30,000
004	ダクト工	24,000	30,000
005	配管工	24,000	30,000
006	特殊作業員	24,000	30,000
007	土 工	24,000	30,000

労務追加

労務削除

コード	中分類	名称	基準単価	原価率	見積率	定価	原価率	見積率	原価率	見積率	歩掛調整率	材料費	諸経費割合(労)	諸経費割合(労以外)
	基本		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
590	ケーブル表示札類		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
	電気(B材)													
101	電線管・付属品類		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
103	液付硬質ポリエチレン管類		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
104	角型TACレックス		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
106	トラフ・ヒューム管類		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
108	ボックス類		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
110	フルボックス既製品類		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
116	ケーブルラック支持材		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
122	2種金属線び支持材		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
124	1種金属線び類		100	100	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
127	ダクト支持材		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
136	樹脂ダクト類<MKダクト>		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
137	モール類		100	100	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0
156	ラティックダクト		100	120	60	100	110	120	100	30			47.0	11.0

1. 複合単価の計算方式変更に伴う改修についての注意点

アップデート後に初期設定を変更することによって、同じ資材でも複合単価の金額が変わります。

【アップデート前】

中分類名	品目名称	規格名称	単位	拾い数量	原価数量	見積数量	原価単価	原価金額	単価	金額	歩掛1
電線管・付属品	ネジナ電線管	E 25 隠ぺい	m	100	100	100	165	177,700	198	220,700	0.0560
電線類	電力用ケーブル 600V VV-F	VV-F 1.6 - 2C 一般管内	m	100	100	100	46	40,200	58	50,200	0.0130
電線管・付属品	ネジナ電線管	E 25 隠ぺい	m	100	100	100	165	227,800	198	283,100	0.0560
電線類	電力用ケーブル 600V VV-F	VV-F 1.6 - 2C 一般管内	m	100	100	100	46	51,600	58	64,600	0.0130

【アップデート後
初期設定を変更】

1. 複合単価の計算方式変更に伴う改修についての注意点 【再使用した場合】

アップデート前に作成している過去の見積を再利用した場合、作成時の初期設定情報をそのままコピーします。
そのため初期設定のパターンを呼び出すか、「諸経費割合(労)」欄と「諸経費割合(労以外)」欄を手入力する必要があります。

さらに、すでに入力されている資材に対しては、資材選択をしながら再計算を行う必要があります。

【再利用時の初期設定】

本九D3d

F1

F1

F2

F3

F4

F5

F6

F7

F8

F9

F10

F11

F12

画面中退

詳細説明化

閉じる

見積入力初期設定

基本設定

その他設定

ユーザ設定

区分	労務名称	労務原価率	労務標準値	労務変動値	労務追加	労務削減
001	電工	11,500	20,000			
002	給電工	11,500	16,800			
003	機械工	11,500	16,800			
004	タワ工	11,500	16,800			
005	配管工	11,500	16,800			
006	特殊作業員	11,500	16,800			
007	土工	11,500	16,800			

中分類	基準単価	定価	歩掛調整率	材料費	諸経費割合(%)	諸経費割合(円以外)	
コード	名称	原価率	見庫率	原価率	見庫率	原価率	見庫率
基本		100	110	70	95	105	120
	電気(A材)						
105	多糸電線管理	100	150	70	95	105	120
111	フムホック特注品類	100	110	70	95	105	120
115	ケーブルラック	100	110	70	95	105	120
120	2種金庫鎖付型	100	110	70	95	105	120
126	タ外組	100	110	70	95	105	120
133	アミ合金製ゲル	100	110	70	95	105	120
153	ハスダ外	100	110	70	95	105	120
154	電送材	100	110	70	95	105	120
155	ウチヤシ	100	110	70	95	105	120
158	防振用材料類	100	110	70	95	105	120
161	幹線分岐ケーブル	100	110	70	95	105	120
201	中央監視盤	100	110	70	95	105	120
203	直流電源装置類	100	110	70	95	105	120
205	自家田変置機	100	110	70	95	105	120

【再利用時の明細ごとの率】

[illegible]

2. 建設業法改定に伴う法定福利費機能の改修についての注意点

法定福利費画面が変更になっています。

今までの法定福利費画面で設定（標準設定）している内容は、すべてクリアされます。

※アップデート前に必ず法定福利費画面内の情報を控えておいていただくことをおススメします。

【アップデート前】

法定福利費設定

☐ 見積金額に対して計算する
 見積総合計(A) 951,800 労務費率(C) 0.00 法定福利費事業主負担率(D) 0.00 法定福利費相当額(E) 85,000

☒ 労務費に対して計算する
 労務費合計(B) 557,000 法定福利費事業主負担率(D) 15.150 調整率 100 調整方法 切り上げ

労務費対象分類	金額	追加労務費	金額
1 労務費 <機械設備用	431,000	1	
2 労務費 <弱電設備用	0	2	
3 労務費 <電気設備用	126,000	3	
4 耐圧試験費	0	4	
5 建柱費・接柱費	0	5	
6 土工費	0	6	
7 諸経費	0	7	
8		8	
9		9	
10		10	

総括行への記載方法
☒ 見積額とは別途計上する
☐ 見積額に含める
☐ 工種名のみセット ※コメント行に実装されます
 工種名 法定福利費 労務費(B)×負担率(D)% ※工種名は上書きされます
☐ 備考に追加労務費をセットする ※備考は上書きされます

標準登録

【アップデート後】

アップデート前に設定をされていた内容はすべてクリアされ、初期値が改めてセットされます。

法定福利費等設定

パターン名 サンプル

労務費・材料費・経費割

☐ 直接工事費に対して計算する

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	3,131,500	67,000	2,098,105	28,000	74,932	30,000	939,450	3,000	93,945

☒ 労務費に対して計算する

☒ 金額のみ表示

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1	労務費 <弱電設備用	1,296,000	100.000	1,296,000	002	弱電工	30,000	43,200	0.000	0
2	労務費 <電気設備用	889,000	100.000	889,000	001	電 工	30,000	29,633	0.000	0

金額

労務費(E) 2,185,000 材料費 557,209 経費 389,291 法定福利費(F) 357,796 建退共掛金(G) 23,360 安全衛生経費(H) 68,700

経費

法定福利費明細

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	雇用保険料	1,050		22,943					
2	健康保険料	4,890		106,847					
3	介護保険料	0,810		17,699					
4	厚生年金保険料	9,150		199,928					
5	子ども・子育て拠出金	0,360		7,896					
6	子ども・子育て支援金	0,115		2,513					
	合計	16,375		357,796					

建退共掛金

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	建退共掛金								
2	単価(円/日)	320							
	元請等が経費等購入								

安全衛生経費

☒ 積上分を利用 積上計算 25,000

☒ 率計算分を利用

☐ 労務費から算出

☐ 直接工事費から算出

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	1年間の自社で購入・支出した安全衛生経費	1,000,000		1,000,000					
2	1年間の技能者の賃金合計	50,000,000		200,000,000					
3	安全衛生経費率(%)	2.000		0.500					

見積書・総括表への記載

☒ 見積額とは別途計上する
☐ 見積額に含める
☒ 工種名のみセットする(金額欄へ金額をセットしない)
☐ 明確に利率を追記する
☐ 原価を発生させる 割合 0.000

☐ 表示 現場管理費 現場管理費
☒ 表示 法定福利費 法定福利費(F)円 事業主負担率(D)%
☒ 表示 建退共掛金 建退共掛金(G)円
☒ 表示 安全衛生経費 安全衛生経費(H)円